

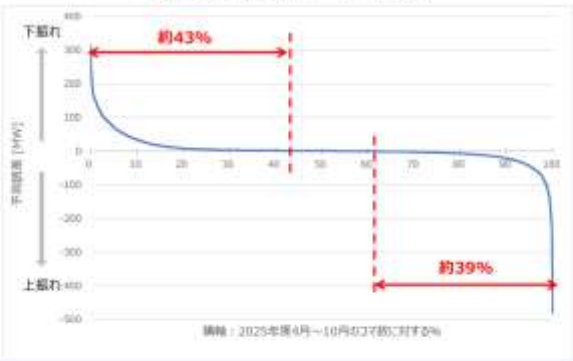
第59回需給調整市場検討小委員会
 第76回調整力の細分化及び広域調達の技術的検討に関する作業会
 資料3別紙修正箇所 新旧対照表

北陸エリアの三次②必要量に関する事後検証に用いる再エネ予測値データの一部に誤りがあったため、修正しております。

(修正箇所部分を抜粋)

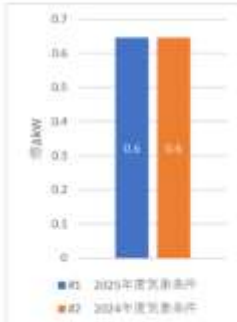
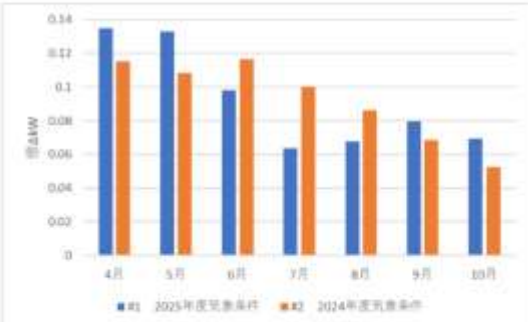
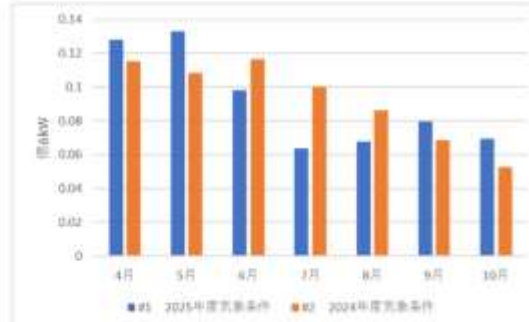
(2026年6月9日修正分)

	修正前	修正後
P.92	1. 実績比較 1-1. 三次②必要量に対する予測誤差 ■ 2025年度4月～10月において、三次②必要量に対する予測誤差（前日予測値－GC予測値）を確認したところ、約41%のコマで不足(三次②必要量<予測誤差)、約35%のコマで予備(三次②必要量>予測誤差)となっていた。 三次②必要量に対する予測誤差のデレーションカーブ (縦軸：前日予測値－GC予測値－三次②必要量) 横軸：2025年度4月～10月のコマ数に対する% © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL	1. 実績比較 1-1. 三次②必要量に対する予測誤差 ■ 2025年度4月～10月において、三次②必要量に対する予測誤差（前日予測値－GC予測値）を確認したところ、約42%のコマで不足(三次②必要量<予測誤差)、約35%のコマで予備(三次②必要量>予測誤差)となっていた。 三次②必要量に対する予測誤差のデレーションカーブ (縦軸：前日予測値－GC予測値－三次②必要量) 横軸：2025年度4月～10月のコマ数に対する% © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL 【理由】北陸エリアの不足コマの割合に誤りがあったので修正しております。

	修正前	修正後
P.93	1. 実績比較 【参考】GC予測値に対する前日予測値（予測誤差） ■ GC予測値と前日予測値の誤差実績を確認した結果、2025年度4月～10月の下振れと上振れのコマ数に大きな差異はないことを確認。 GC予測値に対する前日予測値のデレーションカーブ (縦軸：前日予測値 - GC予測値)  下振れ 約43% 上振れ 約39% 横軸：2025年度4月～10月のコマ数に対する% © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL	1. 実績比較 【参考】GC予測値に対する前日予測値（予測誤差） 修正あり ■ GC予測値と前日予測値の誤差実績を確認した結果、2025年度4月～10月の下振れと上振れのコマ数に大きな差異はないことを確認。 GC予測値に対する前日予測値のデレーションカーブ (縦軸：前日予測値 - GC予測値)  下振れ 約44% 上振れ 約38% 横軸：2025年度4月～10月のコマ数に対する% © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL

	修正前	修正後
P.94	1. 実績比較 1-2. 三次②必要量の使用率 3 ■ 2025年度4月～10月において、三次②必要量が再エネの下振れ誤差に対応した状況（使用率）を確認したところ、約39%となっていた。 ■ なお、再エネ予測は上振れと下振れが発生するものであり、また安定供給の観点から三次②は大幅な下振れに備えるため確保しているため、すべての三次②を活用する頻度は高くなく、一般的に使用率は高くならないものと考えられる。 三次②使用率 (予測誤差実績[前日予測値-GC予測値]÷三次②必要量) © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL	1. 実績比較 修正あり 3 1-2. 三次②必要量の使用率 ■ 2025年度4月～10月において、三次②必要量が再エネの下振れ誤差に対応した状況（使用率）を確認したところ、<u>約43%</u>となっていた。 ■ なお、再エネ予測は上振れと下振れが発生するものであり、また安定供給の観点から三次②は大幅な下振れに備えるため確保しているため、すべての三次②を活用する頻度は高くなく、一般的に使用率は高くならないものと考えられる。 三次②使用率 (予測誤差実績[前日予測値-GC予測値]÷三次②必要量) © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL

	修正前	修正後
P.97	1. 実績比較 1-4. 気象状況による影響 (2/2) ■ 2024年度実績値では、約41%のコマが不足、約36%のコマが予備であった。 ■ 2025年度の実績値を用いた結果と比較しても有意差はなく、2025年度の気象による特異な事象ではないと考えられる。 前日予測値・GC予測値の使用年度を変更した場合のデューレーションカーブ比較 (縦軸：前日予測値 - GC予測値 - 三次②必要量) このグラフは、前日予測値とGC予測値の使用年度を変更した場合のデューレーションカーブを比較しています。縦軸は「前日予測値 - GC予測値 - 三次②必要量」を示し、横軸は「前日予測値 - GC予測値 - 三次②必要量」を示します。グラフには、#1 2025年度（約41%）と#2 2024年度（約36%）のデータが示されています。また、#1 2025年度（約35%）のデータも示されています。グラフの下部には「横軸：2025年度4月～10月のコマ数に対する%」と記載されています。 © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL	1. 実績比較 1-4. 気象状況による影響 (2/2) 修正あり ■ 2024年度実績値では、約41%のコマが不足、約36%のコマが予備であった。 ■ 2025年度の実績値を用いた結果と比較しても有意差はなく、2025年度の気象による特異な事象ではないと考えられる。 前日予測値・GC予測値の使用年度を変更した場合のデューレーションカーブ比較 (縦軸：前日予測値 - GC予測値 - 三次②必要量) このグラフは、前日予測値とGC予測値の使用年度を変更した場合のデューレーションカーブを比較しています。縦軸は「前日予測値 - GC予測値 - 三次②必要量」を示し、横軸は「前日予測値 - GC予測値 - 三次②必要量」を示します。グラフには、#1 2025年度（約42%）と#2 2024年度（約36%）のデータが示されています。また、#1 2025年度（約35%）のデータも示されています。グラフの下部には「横軸：2025年度4月～10月のコマ数に対する%」と記載されています。 © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL

	修正前	修正後																																																												
P.98	1. 実績比較 【参考】気象による累計必要量への影響 ■ 月別の必要量においては、必要量にはらつきが見られるものの、気象による差と考えられ、累計の必要量においては有意差は見られなかった。 三次②必要量（累計） <table><caption>三次②必要量（累計）</caption><tr><th>年度</th><th>必要量 (MW)</th></tr><tr><td>2025年度気象条件</td><td>0.6</td></tr><tr><td>2024年度気象条件</td><td>0.6</td></tr></table> 三次②必要量（月別） <table><caption>三次②必要量（月別）</caption><tr><th>月</th><th>2025年度気象条件 (MW)</th><th>2024年度気象条件 (MW)</th></tr><tr><td>4月</td><td>0.13</td><td>0.11</td></tr><tr><td>5月</td><td>0.13</td><td>0.11</td></tr><tr><td>6月</td><td>0.10</td><td>0.11</td></tr><tr><td>7月</td><td>0.06</td><td>0.10</td></tr><tr><td>8月</td><td>0.07</td><td>0.08</td></tr><tr><td>9月</td><td>0.08</td><td>0.07</td></tr><tr><td>10月</td><td>0.07</td><td>0.05</td></tr></table> © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL	年度	必要量 (MW)	2025年度気象条件	0.6	2024年度気象条件	0.6	月	2025年度気象条件 (MW)	2024年度気象条件 (MW)	4月	0.13	0.11	5月	0.13	0.11	6月	0.10	0.11	7月	0.06	0.10	8月	0.07	0.08	9月	0.08	0.07	10月	0.07	0.05	1. 実績比較 【参考】気象による累計必要量への影響 修正あり ■ 月別の必要量においては、必要量にはらつきが見られるものの、気象による差と考えられ、累計の必要量においては有意差は見られなかった。 三次②必要量（累計） <table><caption>三次②必要量（累計）</caption><tr><th>年度</th><th>必要量 (MW)</th></tr><tr><td>2025年度気象条件</td><td>0.6</td></tr><tr><td>2024年度気象条件</td><td>0.6</td></tr></table> 三次②必要量（月別） <table><caption>三次②必要量（月別）</caption><tr><th>月</th><th>2025年度気象条件 (MW)</th><th>2024年度気象条件 (MW)</th></tr><tr><td>4月</td><td>0.13</td><td>0.11</td></tr><tr><td>5月</td><td>0.13</td><td>0.11</td></tr><tr><td>6月</td><td>0.10</td><td>0.11</td></tr><tr><td>7月</td><td>0.06</td><td>0.10</td></tr><tr><td>8月</td><td>0.07</td><td>0.08</td></tr><tr><td>9月</td><td>0.08</td><td>0.07</td></tr><tr><td>10月</td><td>0.07</td><td>0.05</td></tr></table> © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL	年度	必要量 (MW)	2025年度気象条件	0.6	2024年度気象条件	0.6	月	2025年度気象条件 (MW)	2024年度気象条件 (MW)	4月	0.13	0.11	5月	0.13	0.11	6月	0.10	0.11	7月	0.06	0.10	8月	0.07	0.08	9月	0.08	0.07	10月	0.07	0.05
年度	必要量 (MW)																																																													
2025年度気象条件	0.6																																																													
2024年度気象条件	0.6																																																													
月	2025年度気象条件 (MW)	2024年度気象条件 (MW)																																																												
4月	0.13	0.11																																																												
5月	0.13	0.11																																																												
6月	0.10	0.11																																																												
7月	0.06	0.10																																																												
8月	0.07	0.08																																																												
9月	0.08	0.07																																																												
10月	0.07	0.05																																																												
年度	必要量 (MW)																																																													
2025年度気象条件	0.6																																																													
2024年度気象条件	0.6																																																													
月	2025年度気象条件 (MW)	2024年度気象条件 (MW)																																																												
4月	0.13	0.11																																																												
5月	0.13	0.11																																																												
6月	0.10	0.11																																																												
7月	0.06	0.10																																																												
8月	0.07	0.08																																																												
9月	0.08	0.07																																																												
10月	0.07	0.05																																																												

修正前

P.99

修正後

1. 実績比較

1-5. 三次②必要量の前年度との比較

- 2025年度と2024年度の同期間[※]の必要量との比較評価を行った結果、累計では約58%減少しており、各月でみるとばらつきがある。
- これは、2024年7月より導入された三次②の効率的な調達や、2025年4月より導入された取引時間30分化によるものと考えられる。

※三次②必要量はFIT設備量の変化にも影響を受けることから、2024年度の必要量は2025年度との設備増加率にて補正を実施

<必要量の諸元>

#	三次②必要量	三次②必要量テーブル	前日予測値
1	2025年度4月～10月の実績	2025年度の実取引に用いたテーブル	2025年度4月～10月
2	2024年度4月～10月の実績を設備増加率で補正	2024年度の実取引に用いたテーブル	2024年度4月～10月

三次②必要量（累計）

▲0.3
(▲33%)

年度	必要量 (GWh)
2025年度	0.6
2024年度	0.9

三次②必要量（月別）

月	2025年度 (GWh)	2024年度 (GWh)
4月	0.1	0.2
5月	0.1	0.2
6月	0.1	0.2
7月	0.1	0.2
8月	0.1	0.2
9月	0.1	0.2
10月	0.1	0.2

© Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. | CONFIDENTIAL

1. 実績比較

1-5. 三次②必要量の前年度との比較

修正あり

- 2025年度と2024年度の同期間[※]の必要量との比較評価を行った結果、累計では約59%減少しており、各月でみるとばらつきがある。
- これは、2024年7月より導入された三次②の効率的な調達や、2025年4月より導入された取引時間30分化によるものと考えられる。

※三次②必要量はFIT設備量の変化にも影響を受けることから、2024年度の必要量は2025年度との設備増加率にて補正を実施

<必要量の諸元>

#	三次②必要量	三次②必要量テーブル	前日予測値
1	2025年度4月～10月の実績	2025年度の実取引に用いたテーブル	2025年度4月～10月
2	2024年度4月～10月の実績を設備増加率で補正	2024年度の実取引に用いたテーブル	2024年度4月～10月

三次②必要量（累計）

▲0.3
(▲33%)

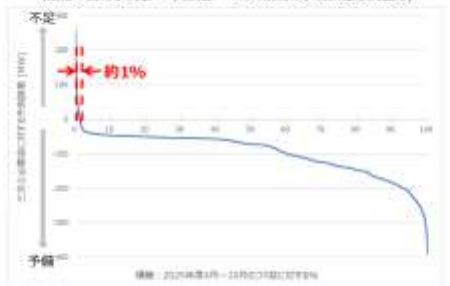
年度	必要量 (GWh)
2025年度	0.6
2024年度	0.9

三次②必要量（月別）

月	2025年度 (GWh)	2024年度 (GWh)
4月	0.1	0.2
5月	0.1	0.2
6月	0.1	0.2
7月	0.1	0.2
8月	0.1	0.2
9月	0.1	0.2
10月	0.1	0.2

© Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. | CONFIDENTIAL

	修正前	修正後
P.100	1. 実績比較 1-6. 再エネ予測精度の前年度との比較 ■ 前日予測から実績値との差を用いて、2024年度[※]と2025年度の再エネ予測精度を比較した結果、2025年度では、約36%のコマが下振れ、約57%のコマが上振れ、2024年度では、約43%のコマが下振れ、約48%のコマが上振れていることを確認。 ※FIT設備量の変化にも影響を受けることから、設備増加率にて補正 実績に対する前日予測値のデレーションカーブ (縦軸：前日予測値 - 実績値) 横軸：2025年度4月～10月の17日数に対する% © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. [CONFIDENTIAL]	1. 実績比較 修正あり 1-6. 再エネ予測精度の前年度との比較 ■ 前日予測から実績値との差を用いて、2024年度[※]と2025年度の再エネ予測精度を比較した結果、2025年度では、約38%のコマが下振れ、約55%のコマが上振れ、2024年度では、約43%のコマが下振れ、約48%のコマが上振れていることを確認。 ※FIT設備量の変化にも影響を受けることから、設備増加率にて補正 実績に対する前日予測値のデレーションカーブ (縦軸：前日予測値 - 実績値) 横軸：2025年度4月～10月の17日数に対する% © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. [CONFIDENTIAL]

	修正前	修正後
P.101	2. 必要量が不足した断面における需給運用の状況 2-1. 実需給における再エネ予測誤差対応 10 ■ 前述のとおり、2025年度における予測誤差(前日予測値-GC予測値)と三次②必要量を比較したところ、約41%の不足が発生していたものの再エネ予測外しによる大幅な周波数低下等の事象は発生していない。 ■ これは、実需給断面では、三次②に加えて二次②・三次①相当の調整力を用いて、再エネ予測誤差に対応しているためと考えられる。 ■ このため、実需給断面における“再エネ予測誤差”と“事前に確保した調整力”を比較した結果、約99%のコマで実績の誤差に対応できていたことを確認。 ■ 一方、残り1%は、余力活用電源の余力に頼る運用となっていた。 「EDC相当の予測誤差分調整力」に対する「実需給における予測誤差(前日予測値-実績値)」のデレーションカーブ (縦軸：前日予測値 - 実績値 - EDC相当の予測誤差分調整力)  図表：2025年度4月～10月の77回に対する9% © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL	2. 必要量が不足した断面における需給運用の状況 修正あり 2-1. 実需給における再エネ予測誤差対応 10 ■ 前述のとおり、2025年度における予測誤差(前日予測値-GC予測値)と三次②必要量を比較したところ、<u>約42%の不足</u>が発生していたものの再エネ予測外しによる大幅な周波数低下等の事象は発生していない。 ■ これは、実需給断面では、三次②に加えて二次②・三次①相当の調整力を用いて、再エネ予測誤差に対応しているためと考えられる。 ■ このため、実需給断面における“再エネ予測誤差”と“事前に確保した調整力”を比較した結果、約99%のコマで実績の誤差に対応できていたことを確認。 ■ 一方、残り1%は、余力活用電源の余力に頼る運用となっていた。 「EDC相当の予測誤差分調整力」に対する「実需給における予測誤差(前日予測値-実績値)」のデレーションカーブ (縦軸：前日予測値 - 実績値 - EDC相当の予測誤差分調整力)  図表：2025年度4月～10月の77回に対する9% © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL

	修正前	修正後
P.104	3. 気象信頼度予測実績評価 3-1.信頼度予測による必要量比較 13 ■ 第30回需給調整市場検討小委にて整理された気象予測の信頼度に応じた必要量の算定手法について、評価を実施。 ■ 信頼度予測手法を導入していない場合と比較した結果、累計約19%の必要量低減効果があったことを確認した。 三次②必要量（累計） 三次②必要量（月別）	3. 気象信頼度予測実績評価 3-1.信頼度予測による必要量比較 修正あり13 ■ 第30回需給調整市場検討小委にて整理された気象予測の信頼度に応じた必要量の算定手法について、評価を実施。 ■ 信頼度予測手法を導入していない場合と比較した結果、累計約20%の必要量低減効果があったことを確認した。 三次②必要量（累計） 三次②必要量（月別）

	修正前	修正後
P.106	4. 三次調整力②の効率的な調達 4-1. 効率的な調達(1σ)における追加調達対応 15 ■ 第48回需給調整市場検討小委にて整理された、三次調整力②の効率的な調達が2024年度より導入され、前日市場での必要量を3σ→1σ相当値に削減することとした。 ■ これに伴い、前日15時時点の再エネ予測値について、追加調達閾値以上の下振れが発生した場合、再エネ下振れ量を加味して3σ必要量相当を追加調達する運用を実施している。 ■ 2025年度4月から10月の期間において、追加調達を実施したコマは実施期間中5.5%であった。(10,272コマ中326コマ) 三次②追加調達発生回数[コマ] (累計) 三次②追加調達発生回数[コマ] (毎月) © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL	4. 三次調整力②の効率的な調達 修正あり 15 4-1. 効率的な調達(1σ)における追加調達対応 ■ 第48回需給調整市場検討小委にて整理された、三次調整力②の効率的な調達が2024年度より導入され、前日市場での必要量を3σ→1σ相当値に削減することとした。 ■ これに伴い、前日15時時点の再エネ予測値について、追加調達閾値以上の下振れが発生した場合、再エネ下振れ量を加味して3σ必要量相当を追加調達する運用を実施している。 ■ 2025年度4月から10月の期間において、追加調達を実施したコマは実施期間中6.0%であった。(10,272コマ中354コマ) 三次②追加調達発生回数[コマ] (累計) 三次②追加調達発生回数[コマ] (毎月) © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL

	修正前	修正後
P.108	5. 三次調整力②の取引単位30分化 5-1. 三次調整力②の取引単位30分化 17 ■ 第25回需給調整市場検討小委にて整理された、三次調整力②の取引単位30分化が2025年3月14日より導入された。 ■ これに伴い、2025年4月～10月での三次調整力②の必要量について評価した。 ■ 不足コマは約9%増えたが予備コマが約17%減少し、必要量の低減効果のほうが有意に出た。 三次②必要量に対する予測誤差のデレーションカーブ (縦軸：前日予測値 - GC予測値 - 三次②必要量) © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL	5. 三次調整力②の取引単位30分化 修正あり 17 5-1. 三次調整力②の取引単位30分化 ■ 第25回需給調整市場検討小委にて整理された、三次調整力②の取引単位30分化が2025年3月14日より導入された。 ■ これに伴い、2025年4月～10月での三次調整力②の必要量について評価した。 ■ 不足コマは約9%増えたが予備コマが約16%減少し、必要量の低減効果のほうが有意に出た。 三次②必要量に対する予測誤差のデレーションカーブ (縦軸：前日予測値 - GC予測値 - 三次②必要量) © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL

	修正前	修正後																																																												
P.109	5. 三次調整力②の取引単位30分化 5-2. 三次調整力②の取引単位30分化 10 ■ 2025年4月～10月での三次調整力②の必要量について取引単位3時間と30分で比較を実施した。 ■ 取引単位30分化により累計で約22%の必要量削減効果があった。 三次②必要量（累計） <table><caption>三次②必要量（累計）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>必要量 (MW)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2025年度 (取引単位3時間)</td><td>0.8</td></tr><tr><td>2024年度 (取引単位30分)</td><td>0.6</td></tr></tbody></table> 三次②必要量（月別） <table><caption>三次②必要量（月別）</caption><thead><tr><th>月</th><th>2025年度 (取引単位3時間)</th><th>2024年度 (取引単位30分)</th></tr></thead><tbody><tr><td>4月</td><td>0.18</td><td>0.13</td></tr><tr><td>5月</td><td>0.17</td><td>0.13</td></tr><tr><td>6月</td><td>0.13</td><td>0.10</td></tr><tr><td>7月</td><td>0.08</td><td>0.06</td></tr><tr><td>8月</td><td>0.09</td><td>0.06</td></tr><tr><td>9月</td><td>0.11</td><td>0.08</td></tr><tr><td>10月</td><td>0.10</td><td>0.07</td></tr></tbody></table> © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL	年度	必要量 (MW)	2025年度 (取引単位3時間)	0.8	2024年度 (取引単位30分)	0.6	月	2025年度 (取引単位3時間)	2024年度 (取引単位30分)	4月	0.18	0.13	5月	0.17	0.13	6月	0.13	0.10	7月	0.08	0.06	8月	0.09	0.06	9月	0.11	0.08	10月	0.10	0.07	5. 三次調整力②の取引単位30分化 5-2. 三次調整力②の取引単位30分化 10 ■ 2025年4月～10月での三次調整力②の必要量について取引単位3時間と30分で比較を実施した。 ■ 取引単位30分化により累計で約23%の必要量削減効果があった。 三次②必要量（累計） <table><caption>三次②必要量（累計）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>必要量 (MW)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2025年度 (取引単位3時間)</td><td>0.8</td></tr><tr><td>2024年度 (取引単位30分)</td><td>0.6</td></tr></tbody></table> 三次②必要量（月別） <table><caption>三次②必要量（月別）</caption><thead><tr><th>月</th><th>2025年度 (取引単位3時間)</th><th>2024年度 (取引単位30分)</th></tr></thead><tbody><tr><td>4月</td><td>0.18</td><td>0.13</td></tr><tr><td>5月</td><td>0.17</td><td>0.13</td></tr><tr><td>6月</td><td>0.13</td><td>0.10</td></tr><tr><td>7月</td><td>0.08</td><td>0.06</td></tr><tr><td>8月</td><td>0.09</td><td>0.06</td></tr><tr><td>9月</td><td>0.11</td><td>0.08</td></tr><tr><td>10月</td><td>0.10</td><td>0.07</td></tr></tbody></table> 修正あり © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL	年度	必要量 (MW)	2025年度 (取引単位3時間)	0.8	2024年度 (取引単位30分)	0.6	月	2025年度 (取引単位3時間)	2024年度 (取引単位30分)	4月	0.18	0.13	5月	0.17	0.13	6月	0.13	0.10	7月	0.08	0.06	8月	0.09	0.06	9月	0.11	0.08	10月	0.10	0.07
年度	必要量 (MW)																																																													
2025年度 (取引単位3時間)	0.8																																																													
2024年度 (取引単位30分)	0.6																																																													
月	2025年度 (取引単位3時間)	2024年度 (取引単位30分)																																																												
4月	0.18	0.13																																																												
5月	0.17	0.13																																																												
6月	0.13	0.10																																																												
7月	0.08	0.06																																																												
8月	0.09	0.06																																																												
9月	0.11	0.08																																																												
10月	0.10	0.07																																																												
年度	必要量 (MW)																																																													
2025年度 (取引単位3時間)	0.8																																																													
2024年度 (取引単位30分)	0.6																																																													
月	2025年度 (取引単位3時間)	2024年度 (取引単位30分)																																																												
4月	0.18	0.13																																																												
5月	0.17	0.13																																																												
6月	0.13	0.10																																																												
7月	0.08	0.06																																																												
8月	0.09	0.06																																																												
9月	0.11	0.08																																																												
10月	0.10	0.07																																																												

	修正前	修正後
P.112	7. 必要量テーブルの補正処理 7-2. 特異値を補正する閾値 ■ 補正処理により、不足側の期間は減少し、予備側の期間は増加している。 ■ 予備側期間の増加は発生しつつも、不足側期間は減少しており、安定供給の観点から、補正処理は妥当であったと考えられる。 ■ また、現状は、前後の必要量が系統規模比1%以上の箇所を補正している。 ■ "1%補正した場合"と"すべて補正した場合"とを比較すると、不足期間・量は同程度であった。 三次①②必要量（各補正）に対する予測誤差のデレーションカーブ (縦軸：前日予測値 - GC予測誤差 - 三次②必要量 (補正無し, すべて補正(0%), 補正値1%, 補正値3%)) すべて補正 不足コマ割合 約39% 1%補正 不足コマ割合 約41% © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL	7. 必要量テーブルの補正処理 7-2. 特異値を補正する閾値 ■ 補正処理により、不足側の期間は減少し、予備側の期間は増加している。 ■ 予備側期間の増加は発生しつつも、不足側期間は減少しており、安定供給の観点から、補正処理は妥当であったと考えられる。 ■ また、現状は、前後の必要量が系統規模比1%以上の箇所を補正している。 ■ "1%補正した場合"と"すべて補正した場合"とを比較すると、不足期間・量は同程度であった。 三次①②必要量（各補正）に対する予測誤差のデレーションカーブ (縦軸：前日予測値 - GC予測誤差 - 三次②必要量 (補正無し, すべて補正(0%), 補正値1%, 補正値3%)) すべて補正 不足コマ割合 約40% 1%補正 不足コマ割合 約42% © Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. CONFIDENTIAL